令和５年度　学校自己評価報告書

Ⅰ　地域とともに子どもを育てる教育

広報活動情報提供、保護者・地域との連携、学校協議会、家庭教育支援、地域運営学校について、１１項目の自己評価

〇広報活動情報提供：ホームページの充実、すぐーるの活用が進んでいる。

〇学校評議会：学校評議会の項目で「マナー、あいさつ、言葉づかい」の取組について振り返ること自体を考え直す。別の視点など。（副校長・教務）

〇家庭教育支援：保護者会で情報交換の時間を設定した⇒家庭教育支援への意識向上

〇地域運営学校：学校運営委員会、関係者評価委員会などを教員がより知って振り返る

●地域連携：幼小中の連携が疎遠にならないように、担当として連携した教員や学年から全体への周知・取組紹介をする。

Ⅱ　未来を担う子どもを育てる教育

教育課程、学習指導、学習環境、日本語、生活指導、道徳、特別活動、総合、学校行事、健康体力、特色、キャリア教育、特別支援教育について、３５項目の自己評価

〇教育課程、学習指導、生活指導、道徳、特別活動、総合、学校行事、健康体力、特色、キャリア教育、特別支援教育

・日々の授業計画などについて、学年で話し合う時間をより確保していく。

・オンライン授業配信に対する教員・児童の経験値増でスムーズになった。

・タブレット PC 活用の視点を明確化、マナー指導の視点を共通確認

・生活指導夕会での諸確認、「あそべくつ」、自問清掃など全校での取り組みが浸透

・特別活動、総合的な学習の時間、キャリア教育などについて、次年度計画でよりよいものにしていく。

・学校行事の早めの提案と役割や日程の明確化で、余裕をもって準備できるように取組を増やすばかりでなく、精選して充実した活動にすることも大切。

・健康や体力向上に向けた取組の充実

・個別指導計画作成の声かけ、取り出し指導調整、すまいるルームとの連携の継続

●学習環境

・教材を使用しやすいように整理する。（教材整理の日を設定）昨年度より継続

●日本語

→教科書の必修部分の確認、国語・生活・総合的な学習の時間などとの関連をもたせながら、「ことば」と「文化」に関する学習活動の充実を図る

Ⅲ　信頼と誇りのもてる学校づくり

教職員、研究研修、保健管理、安全管理について、１５項目の自己評価

〇よい評価のものがほとんどである。

- 経営方針の明確化と教職員の実践
- 健康・体力向上に関する校内研究の充実
- 適切な保健管理と健康観察、感染症対策
- 安全点検や安全指導日の声かけ
- 登下校、放課後の地域での過ごし方、犯罪被害防止に関する情報共有(生活指導夕会)

Ⅳ　教育環境の整備

施設設備、出納経理情報について、５項目の自己評価

〇よい評価のものがほとんどである。

- 施設改善、拡張工事の進展と施設の活用計画
- 学校事務、会計事務部の声かけと適切な会計処理
- 児童や保護者への配付物、教職員への配付物（各提案）の確実な起案
- 個人情報の適切な管理に関する研修や知識